

事業仕分け

「市民判定人」へのアンケート結果

それは、未来をつくれるか。



事業仕分け

目 次		
------------	--	--

1 調査の概要.....	3
2 回答者の属性	4
3 回答結果・分析.....	5
I) 地域の行政・議会について	5
① 行政・議会への満足度.....	5
② 行政・議会の働きの認知度	7
③ 行政・議会の情報を知るための媒体	9
II) 事業仕分けについて.....	10
① 事業仕分け参加前後の意識・行動の変化	10
② 事業仕分けの評価結果に対する 自治体の対応方針の事後確認	12
4 総合的な意見.....	14

1 調査の概要

1 目的

- ① 事業仕分けの方式のうち、住民参加の最も進んだ形である「市民判定人方式」の効果を検証する

とともに、多数の住民を対象とした調査を通じて

- ② 行政・議会に対する一般的な認識を把握する

ことを目的として、アンケート調査を実施しました。

2 対象

2010年～2011年の二年間に「市民判定人」として事業仕分けに参加した住民

3 アンケート送付数・回収率

	アンケートへの協力	(参考)「市民判定人方式」の実施
自治体の数	19自治体(※)	30自治体
市民判定人の数	1,071人	2,018人
アンケート回収数	536枚	
アンケート回収率	50.0%	

※参考：アンケートに協力をいただいた自治体の人口規模

10,000人～40,000人=2市(町)、40,001人～70,000人=8市(町)、

70,001人～100,000人=2市(町)、100,001人～130,000人=2市(町)、

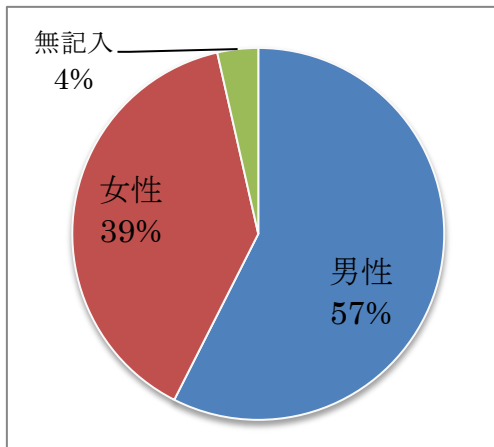
130,001人～160,000人=1市(町)、160,001人～200,000人=2市(町)、

200,001人～220,000人=1市(町) これに加えて、県=1

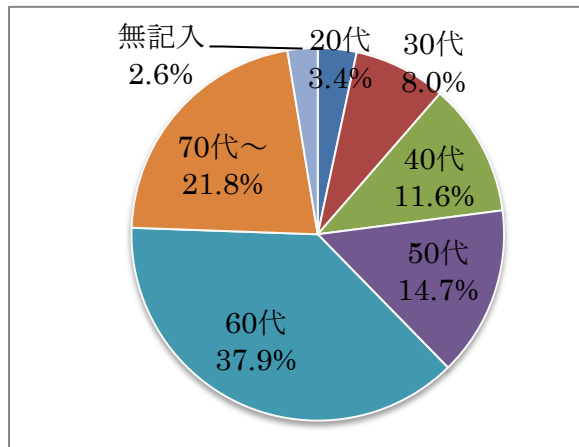
[各市町が公式ウェブサイトで公表する、2012年4月時点で最新の住民基本台帳人口による。]

2 回答者の属性

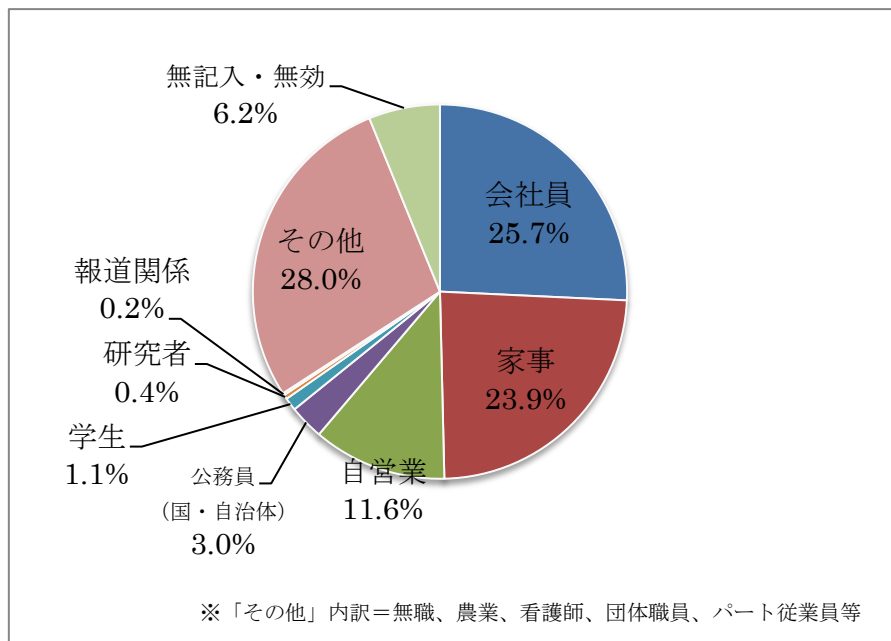
【 性別 】



【 年齢層 】



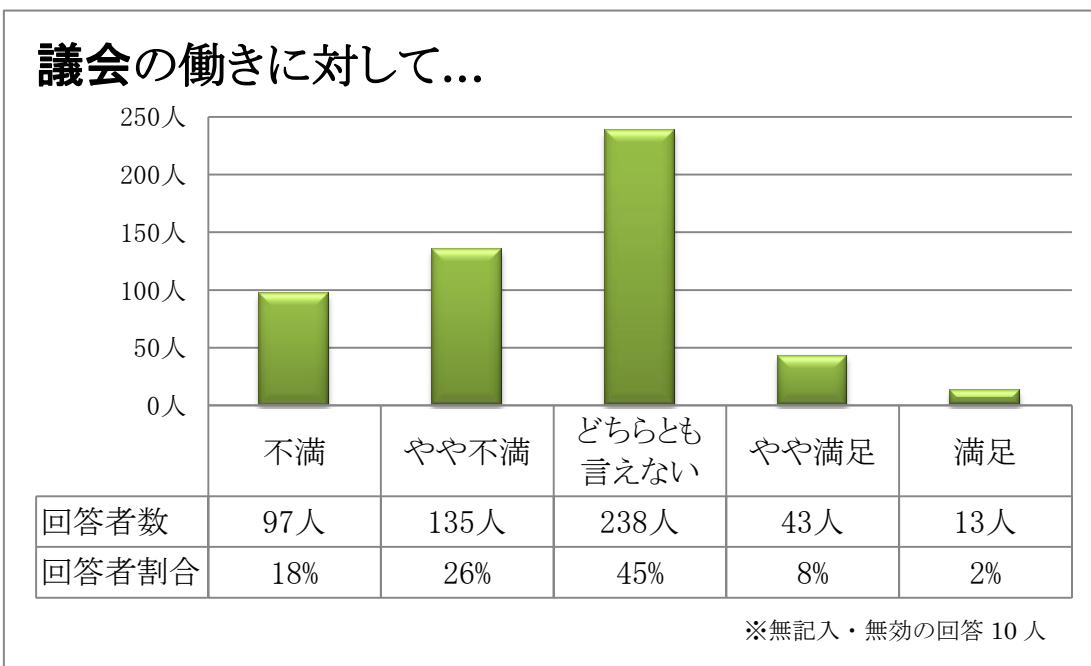
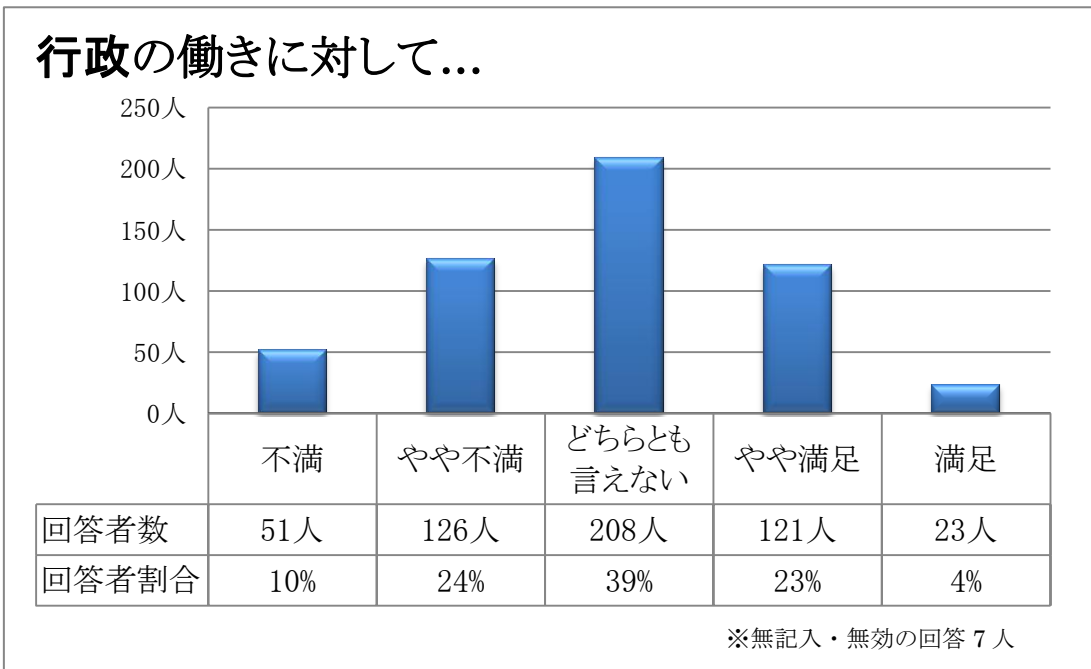
【 職業 】



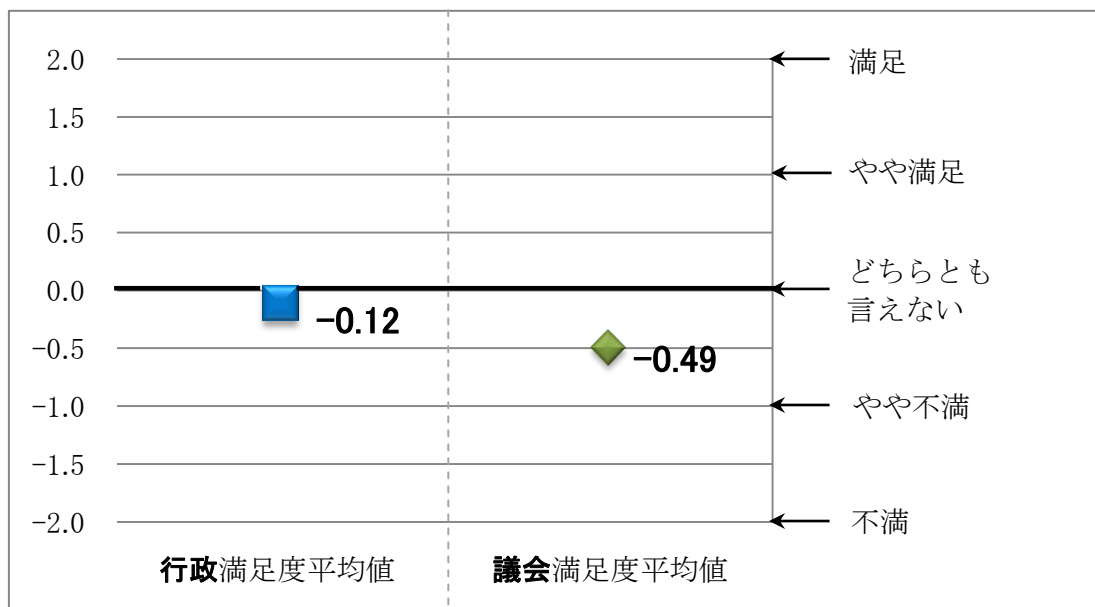
3 回答結果・分析

I) 地域の行政・議会について

① 行政・議会への満足度



⇒ 満足＝2ポイント／やや満足＝1ポイント／どちらとも言えない＝0ポイント／
 やや不満＝-1ポイント／不満＝-2ポイント
 として集計し、満足度の平均値を求めたものが下のグラフです。



満足度の平均値は、行政が -0.12ポイント、議会が -0.49ポイントにとどまっています。

回答者からは、

- ・ 小さな市だからこそできる行政、小さな市だからやらなければならない行政といった事がいっぱいあるはずですが、働きに失敗はつきものかもしれませんが、若者の意見をもっと出していきいきとした市にしてもらいたいです。
 (50代、女性)
- ・ 行政、議会共に成果が見られない。住民からの意見吸上げの手法を考えてほしい。
 (60代、男性)

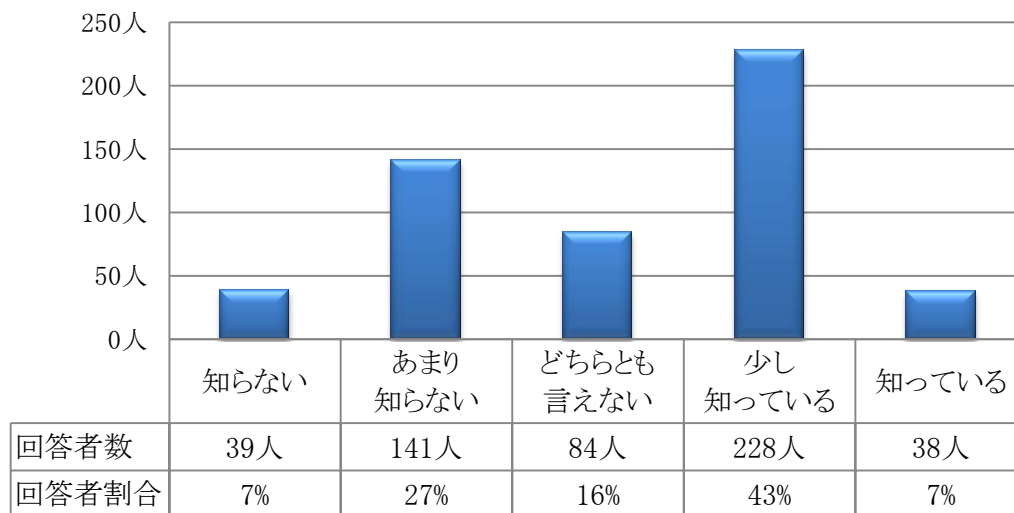
といった意見や、

- ・ 市民のお願い事等にも机の上でばかりで仕事をしてなく、外に出て調査等にも足を運んで調査もしてやってくれる事を望みます。議員の方にも云える事だと感じています。
 (70代～、女性)
- ・ 議会については現場の声（市民）を聞いて頂いて多くの事を議論してよりよい町になる様お願いします。
 (60代、女性)

など、行政・議会ともに現場（市民）の声に耳を傾けることを求める意見が多く出されました。

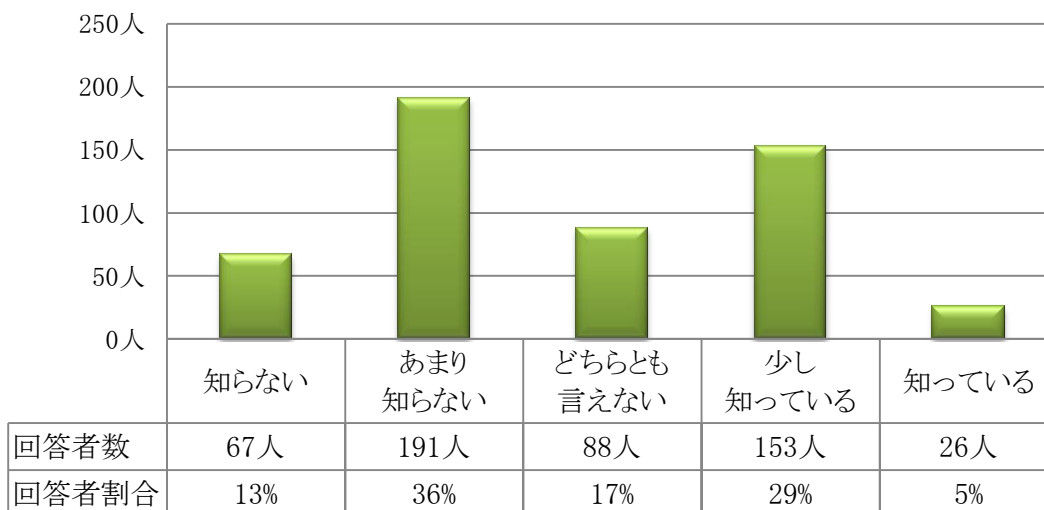
② 行政・議会の働きの認知度

行政の具体的な仕事の内容を...



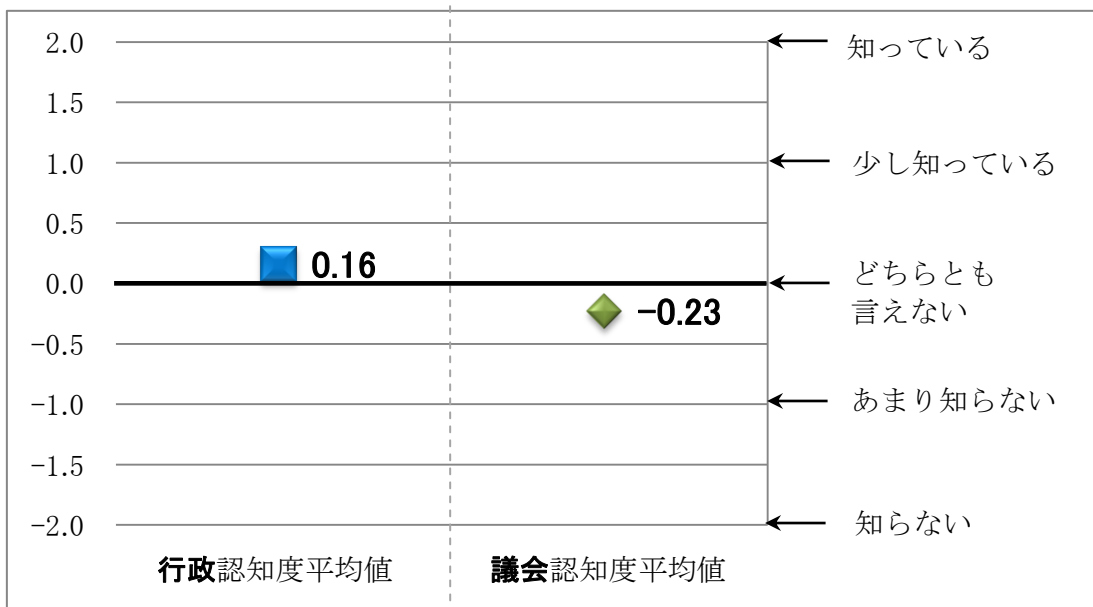
※無記入・無効の回答 6人

議会の具体的な仕事の内容を...



※無記入・無効の回答 11人

⇒知っている=2ポイント/少し知っている=1ポイント/どちらとも言えない=0ポイント/あまり知らない=-1ポイント/知らない=-2ポイントとして集計し、認知度の平均値を求めたものが下のグラフです。



具体的な仕事内容の認知度の平均値は、行政が 0.16 ポイント、議会が -0.23 ポイントとなりました。

回答者からは、

- ・ 市民にわかりやすい情報を流してほしい。関心を持って見るようにします。小冊子等でアピールしたらどうでしょう。 (70代～、女性)
- ・ 広報紙等を通じて、「こんなこともやっています。」というような事をもっと市民にアピールしてもよいのでは。 (40代、男性)
- ・ まちづくり会議や、議会・委員会の傍聴を通じ少しは知ってるが、実際の活動ぶりは見えていない。もっと「見える」状態にしたい。 (60代、男性)

など、関心はあるが、行政・議会から発信される情報が不十分である（わかりにくい）、という内容の意見が目立ちます。

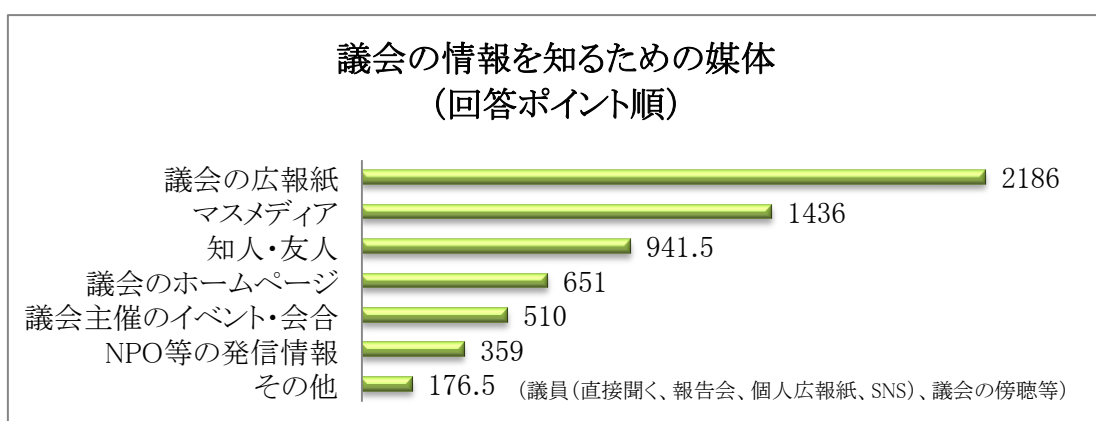
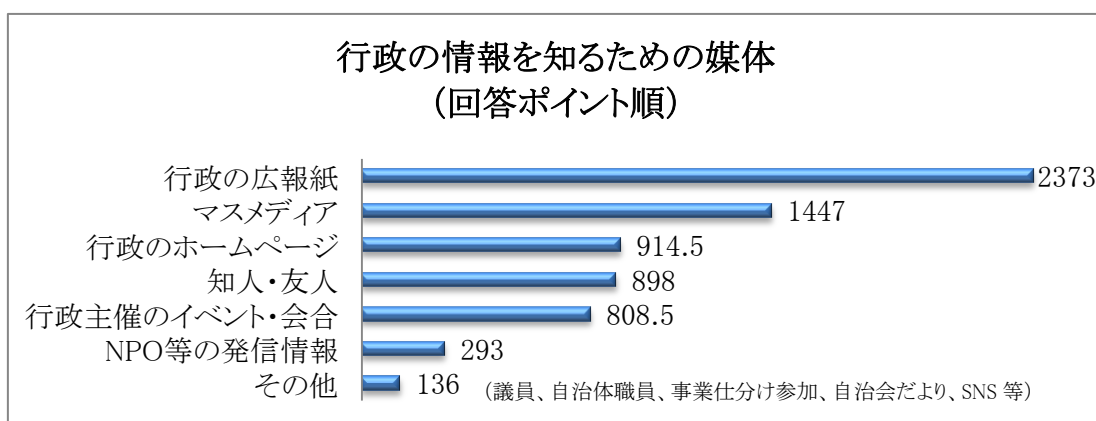
③ 行政・議会の情報を知るための媒体

行政や議会についての情報を得る手段として用いるものを、上位5つまで1～5の順位を付けて選択していただいた結果が下のグラフです。

(1位=5ポイント、2位=4ポイント、3位=3ポイント、4位=2ポイント、5位=1ポイントとして集計。)

※同一順位を複数記入した回答等があったため、ポイント合計に小数点以下の数字が表れています。

(例：5位が二つ⇒0.5ポイントずつ振り分け)



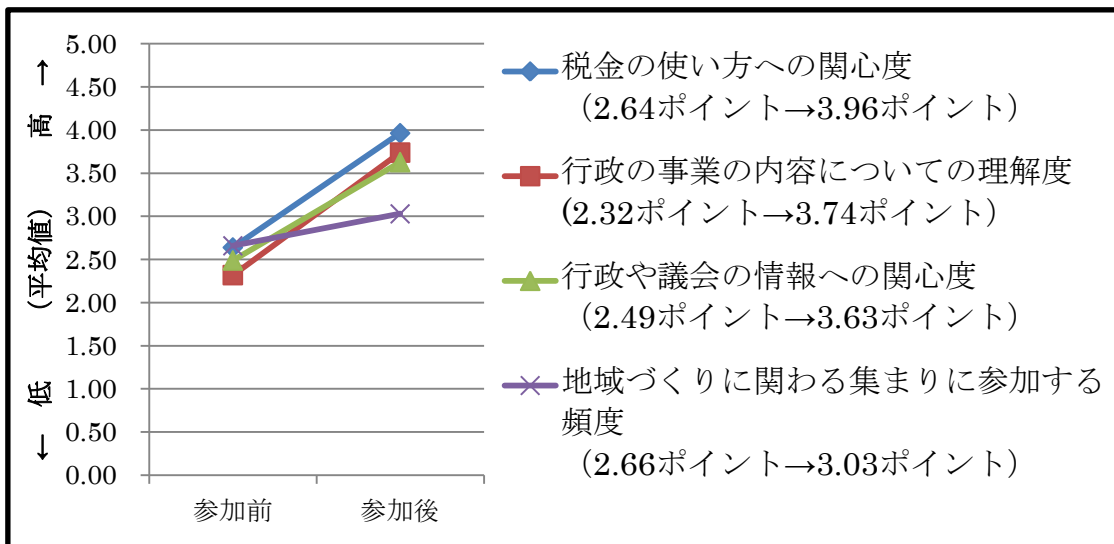
行政・議会ともに、広報紙が1位、マスメディアが2位という結果になっています。

その一方で、

- ・ 月2回の広報紙は何の為のものでしょうか？もっとたくさんの情報を広報にのせなければ無意味だと思います。(50代、女性)
 - ・ 行政は、地区の自治会の集まり等にもっと積極的に出るべき。広報紙等を出しているから見ない方が悪い等の発想ではなく、如何にして見ない人の為に周知させるかの立場に立つべき。(70代～、男性)
- など、広報紙によって必ずしも十分な情報が得られると考えているわけではない、という意見が見られます。

II) 事業仕分けについて

① 事業仕分け参加前後の意識・行動の変化



(※各項目について、1 (低) ~ 5 (高) の 5 段階から選択回答。)

全ての項目について、事業仕分けへの参加を経て関心や意識が高まったという回答が得られました。

回答者からは、以下のようなコメントが寄せられています。

《税金の使い方への関心について》

- ・ 税金が何に使われているかほとんど知らなかったが、事業仕分けに参加することで具体的にどのように使われているか知ることができた。関心を深めることができた。(20代、女性)
- ・ 事業仕分けに参加することで明らかに無駄な行政サービスが存在していることを知り、他の行政サービスに対しても見る目が変わった。(30代、男性)
- ・ 悪いイメージがついていたが、こんなふうに使われていると感じる所が多かった。(50代、女性)

《行政の事業内容の理解について》

- ・ 市の事業にどんなものがあるかを、事業仕分けによって詳細に知ることができた。(30代、男性)
- ・ 参加前、毎年やっている事業にあまり疑問を持たず受け入れていました。参加後、仕分け人の方々のコメントを聞き、行政の方々が、事業への取り組む

意識不足を強く感じました。また、私自身も関心の不足に反省させられ、その事業が本当に必要なのか改めて考えるようになりました。

(70代～、女性)

- ・ 役所の課、ほとんどの事業内容が明確でなかったが、「事業仕分け」当日に政策スタッフ、役所との検討内容を聞くことができ、理解や納得が出来た。

(60代、女性)

《行政や議会の情報への関心について》

- ・ 以前より広報紙やHPを見るようになった。それにより細部の活動内容も理解(多少)できるようになった。(50代、女性)

- ・ 市民向けに開かれている説明会などがあれば参加しようという、意欲は以前より出てきた。(30代、男性)

- ・ この人達は、何やっているのか？という意識から、情報について、シビアに見るようになってきた。(60代、男性)

《地域づくりに関わる集まりに参加する頻度について》

- ・ 事業仕分けへの参加をきっかけに、市民会議への参加や地域での活動の機会が増えた。(60代、男性)

- ・ 老人会より最近ボランティア等に参加が多くなった。(60代、女性)

といったコメントがある一方で、

- ・ 仕事等で忙しく、参加する時間が持てない。(50代、男性)

- ・ 参加したいが年令的、体力的にむり。(70代～、男性)

など、地域づくりに関わりたいという思いはあるが、自分に合った関わり方を見いだせずにいるという趣旨のコメントも目立ちました。

事業仕分け参加前後での意識・行動の変化に関しては、以上の他にも、

- ・ 市政に対する関心度が強くなった。(60代、男性)

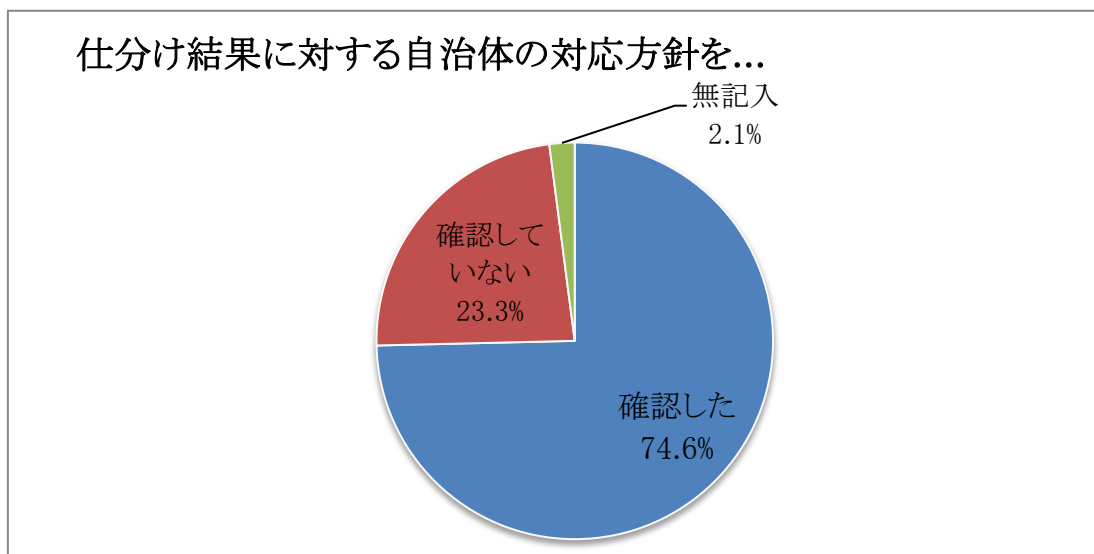
- ・ 常に市政に対する意識を持つようになりました。友人達、姉妹で議論し合うようになりました。(60代、女性)

- ・ 参加したことにより行政を身近に感じることができ、行政のいわば”応援団”人口は増していると感じている。(50代、女性)

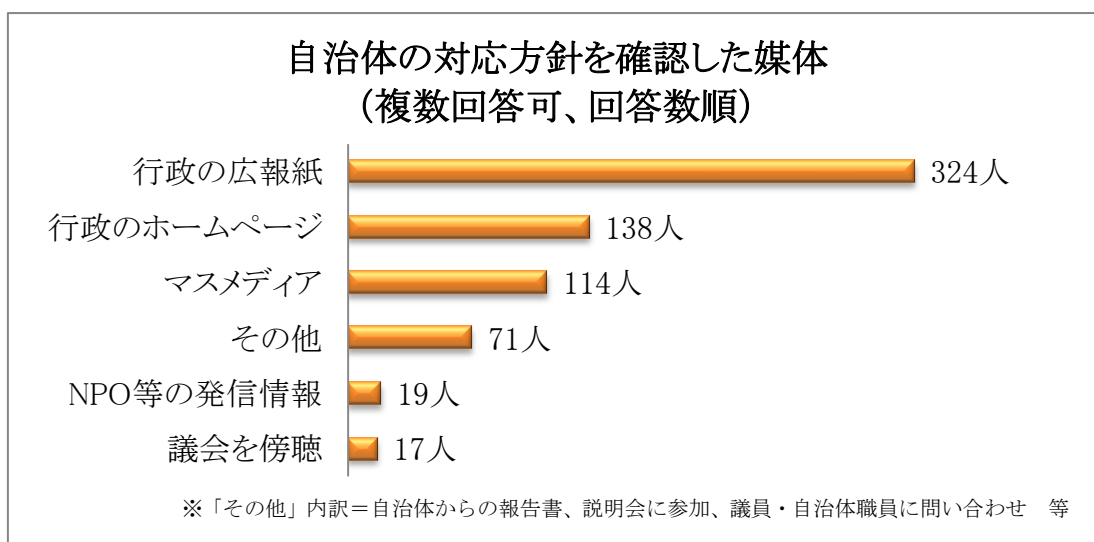
- ・ 事業仕分けという新しい方法に市民が参加したことで、行政と市民が一体となることができたと思います。事業に対する理解、無駄のない税金の使い方など、緊張感を持って検討されるようになると思います。(70代～、女性)

というように、事業仕分けへの参加によって行政や議会への距離が縮まったというコメントが数多く寄せられました。

② 事業仕分けの評価結果に対する自治体の対応方針の事後確認



(対応方針を「確認した」方について、)



回答者のうち、およそ四分之三が、仕分け結果に対する対応方針を「確認した」と回答しており、確認のために用いた媒体はやはり広報紙が最も多くなっています。

対応方針を「確認した」と答えた回答者は、以下のように感想等を述べています。

- ・ 色々反映されているようでとてもよいと思います。まだ反映されていない項目があるようなのでやっていただければと思います。 (50代、女性)
- ・ 事業仕分けの対象となった事業だけでなく、市は他の事業についても、市民

の目で見直して欲しいと思います。

(70代～、男性)

- ・ 全体的に消極的だと感じました。変化を望んで事業仕分けをしたはずなのにイマイチ変化が見れず。
(30代、男性)
- ・ どういう経緯でこの方針を決定されたのかと思った。仕分け結果（特に市民判定人の）を受けて、担当課はどういう協議、調整を行ったのか、結果だけ見せられても本当に意見が生かされたのか疑問に思う。
(20代、女性)
- ・ 対応方針は3月の議会に予算として提出されるとの返答でしたが、「事業仕分けを受けて…」との中間報告がHP、広報にあってもよいのに、と思います。
(50代、女性)
- ・ 廃止した方が良くなくなった事業がすぐに廃止にならなくても、行政の意識改革のきっかけになっていると思うので今回のような取り組みは意義があると思う。
(30代、女性)

4 総合的な意見

事業仕分けに参加した感想や気付いた改善点等、自由に意見を求めたところ、以下のような意見が寄せられました。

まず、市民判定人方式を高く評価し、歓迎するコメントが多く出されました。

- ・ 市が「事業仕分け」又は市民判定人方式を採用されたことは、すばらしく思っています。市民といっしょに築こうとする施策にも共感します。行政、議会だけでなく、市民参加型議会もあれば良いかと。むずかしい議論よりも結構身近なことを市民は望んでいると思います。(50代、男性)
- ・ 本来は議会が行政を監視し、議会は有権者の審判を受けるべきであるが、これが十分に機能していないので、市民による行政の直接監視は行政、議会の双方に緊張感をもたらす効果的な仕組みだと思えます。市民にとっても、自分たちの街のあり方を考え、参加意識を高めるよい機会なので、可能な限り参加者（判定人と傍観者）を増やす工夫をすべきと思えます。(30代、男性)
- ・ 事業仕分けに参加したことで、市の行政に関心をもつことが出来ました。もっと多くの方々に、こういった機会を提供できたら、より市民の理解が深まり、よりよい行政が行えるのではないかと思います。(20代、女性)
- ・ 市民判定人という方式、存在をもっと広く知らしめるべき。もっと多くの事業を対象とすべき。(40代、男性)
- ・ 出来るだけ多くの住民に事業仕分けに参加する機会を与えてほしい。税金の使い方に関心を持つようになり、市政に対して厳しい判断を下すようになる。同時に住民の果たすべき役割を以前より高い次元で自覚するようになる。(70代、女性)
- ・ 今回たまたま市民の中から選ばれて参加できることになってとても良い機会だったと思い感謝しています。ただ何も知らず考えることもなかった行政だったり税金の使い方を知る事ができました。(中略) またこういった機会があれば参加したいと思えます。(40代、女性)

そのうえで、市民判定人として事業仕分けに一層深く関与したかったという意見も多く出されました。

- ・ 判定人は質問が出来ないので1～2問は質問できるようにできないか？(50代、男性)
- ・ 市民判定人も見学の人々も大差ない！判定するからにはいろいろ質問させ

- てほしいし、意見も言わせてもらいたい！ (40代、男性)
- ・ 少し判定人の意見を反映出来る方法はないか (少しでも良い)。 (70代～、男性)
- ・ 仕分け人だけの意見で市民判定人が意見を述べる機会がない。 (60代、男性)
- ・ 事業仕分けに出席した市民にも少しは発言権がほしかった。ひと言もしゃべれなかった。市民にしか分からない事が沢山ある。 (60代、女性)
- ・ せっかく市民が参加しているのだから、最低でも1事業に1～2人の市民にも意見を聞くべきである。 (20代、女性)
- ・ 市民判定人として「意見」を述べられる場面を多くすべき。ただ、聞いているだけでは、あまり効果は期待できない。 (60代、男性)

また、議員の事業仕分けへの積極的参加を求める意見も目立ちました。

- ・ 市長やごく一部の議員が見学していましたが、もっと多くの議員に関心を持って欲しい、と思いました。 (70代～、男性)
- ・ 予算の議決権を有する議員に対して事業仕分けに参加するよう求める必要があると思う。単に支持者の利益代表ではなく、市政をトータルに考える人を議会に送りたいからです。 (70代～、男性)
- ・ 事業仕分け当日、議員が出席していなかった事に、大いに疑問を感じました。知人（の議員）に問うてみましたが、大して重要視していないような返答でした。税金を市民の視点からの優先順位で（人それぞれ立場が異なるので難しいとは思いますが）使ってほしいとの思いを強くしました。 (50代、女性)

※回答者からいただいた意見は、個人の特定につながる表現の省略を除き、原文のまま抜粋しました。

本件についてのお問い合わせは下記までお願いします。

構想日本 [担当:立花・田中]

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-11-2 渡辺ビル 3 階

TEL 03-5275-5607 / FAX 03-5275-5617

E-MAIL shiwake@kosonippon.org

<http://www.kosonippon.org/>